

「循環する時間」

と

「成長する時間」

～社会と自分と子どもの関係～

多方面で活躍されている社会学者宮台真司氏をお招きして、子育てや教育を軸に、教育と社会設計に関する話題や、学校に対する親としての関わり方等、ご自身の体験談も織り交ぜながら講演していただきます。

2015年3月8日(日) 13:00-15:40

講演 宮台真司氏 (社会学者・評論家・首都大学東京教授)

ナビゲータ 苅宿俊文 (青山学院大学社会情報学部教授)

会場 東京大学 情報学環 福武ホール 地下2階ラーニングシアター
アクセス：本郷三丁目駅 徒歩8分 / 東大前駅 徒歩10分

時間 13:00～15:00 講演
15:00～15:40 振り返り
※12:30 受付開始

参加費 2,000円

プロフィール



社会学者、評論家。首都大学東京教授。公共政策プラットフォーム研究評議員。大学院在学中からサブカルライターとして活躍し、女子高生のブルセラや援助交際の実態を取り上げ、90年代に入るとメディアにもたびたび登場、行動する論客として脚光を浴びた。その後は国内の新聞雑誌やテレビに接触せず、インターネット動画番組「マル激トーク・オン・デマンド」や個人ブログ「ミヤダイ・ドットコム」など自らの媒体を通じて社会に発信を続ける。著書は『日本の難点』(幻冬舎新書)、『14歳からの社会学』(世界文化社)、『〈世界〉はそもそもデタラメである』(メディアファクトリー) など多数ある。

主催：一般財団法人生涯学習開発財団

共催：特定非営利活動法人 ワークショップデザイナー推進機構

お申し込み

メールでお申し込み下さい。

tagsympo2013@gmail.com



件名 / 3月8日シンポジウム申込
内容 / 氏名、メールアドレス、所属
(WSDの方は受講大学・修了期)

参加費 2,000円

定員 100名

会場 東京大学福武ホール

宮台真司氏
講演会